

健康科学研究科 鍼灸学専攻 修士課程

健康科学研究科 健康科学専攻 鍼灸学分野 博士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。教育方法の特色ある工夫としては、入学生に社会人が多いことを活かしたフィールドワーク研究を推奨し、研究の成果を社会に還元できることが挙げられます。

【教育方法】

本専攻の教育目的は、広い視野より得た学識を基に、鍼灸医学における研究能力と高度な専門性を有した医療人となるための能力を培うことです。そのため以下の教育方針に沿って教育を行っています。

1. 鍼灸治効理論、様々な疾患に対する鍼灸医学的診断や治療法の習得。
2. 様々な疾患に対する西洋医学的及び東洋医学的観方を学び、それぞれの治療方法を理解することによって、鍼灸治療の意義の修得。
3. 補完代替医療における鍼灸医学の位置づけを学び、医療全体における鍼灸医療の果たすべき役割に対する深い理解。
4. 鍼灸医学の基礎および臨床面の探求すべき課題において、科学的な検証をもって考察する能力且つ得られた結果を発信する能力の修得。

【教育の特色ある工夫】

- ・本専攻のカリキュラムは、健康科学領域の研究及び医療人になるために必須となる研究科の基礎科目に加え、様々な鍼灸医学の知見を修得する講義と演習からなる本専攻の専門科目、更には修士論文作成をおこなう「特別演習・研究」によって構成されています。
- ・専門科目は、「基礎鍼灸学特論」「臨床鍼灸学特論 I」「臨床鍼灸学特論 II」「統合医療学特論 I」「統合医療学特論 II」「中医学特論」及び「附属治療院特別演習」の7科目で構成され、そのうち「基礎鍼灸学特論」「臨床鍼灸学特論 I」「臨床鍼灸学特論 II」「統合医療学特論 I」「統合医療学特論 II」「中医学特論」では、それぞれの科目の領域について広い視野に立って精深な知見を修得するため、各分野を専門とする教員を配置し、教員がそれぞれ指導しています。
- ・本専攻では、池袋キャンパス内の関連施設である東洋医学研究所、帝京池袋鍼灸院、帝京池袋鍼灸臨床センター及び帝京大学附属池袋クリニック（漢方内科）とも連携した基礎及び臨床研究の実施を可能にするなど、「特別演習・研究」の教育環境の充実を図っています。

【健康科学研究科 健康科学専攻（博士課程）教育の特色ある工夫】

- ・健康科学専攻の中には修士課程の7専攻に対応した七つの分野（鍼灸学、柔道整復学、健康栄養学、言語聴覚学、作業療法学、理学療法学、病院前救急医療学）があり、修士課程から博士課程へと続く専門分野の連続性が保たれています。
- ・人を対象にした研究が主になるので、研究倫理全般と臨床研究の倫理を理解・修得するためにeラーニングを用いて教育を行っています。
- ・研究自体は各院生が指導教員と相談・議論しながら進めますが、多様な医療職種の院生が共に学ぶ本専攻では、専門の枠を越えて他職種を理解し連携力を身につけることで、健康科学の広い視野に立って臨床や教育・研究の場で活躍できる人材を育成できると考えています。